

『二孝女物語が問いかけたもの』

豊後国二孝女研究会

代表 野上 平

- 一 1 物語の時代…11代将軍家斉/水戸6代治保=文公から7代治紀=武公 ——退廃的・無気力の気風
- ・止まらぬ農村の人口減少と乱れる社会…役人の不正・淫乱・犯罪……
 - ・道徳教化運動…孝子・節婦・精農者などの表彰
 - ・石門心学の地方普及

石田梅岩の創始した心学…庶民教化のための学として発展

- * 神道・仏教・儒教・老荘思想を取り入れた徳目
「美^{まこと}ノ商人ハ先モ立（たち）、我モ立ツコトヲ思フナリ」（共存共栄の道）…
双方が立つ
- * 元禄時代の拝金主義を反省…「地獄の沙汰も金次第」
- * 正直と儉約・不正手段の利益は盗みに等し、「世界と天下」のため儉約私欲のない正直を実践すれば、「世間一同に和合し、四海のうちみな兄弟のごと」き和合の理想社会が実現する＝営利追求の原則
そのため二重利をとらず、算用誤らず、奢らず、無理をせず
：不正手段によって利益はかる行為…「盗み」に等し
- * 身分的差別を否定した道の実践

2 青蓮寺文書の発見された平成 17(2005)年

- ・夏…時代の寵児「堀江貴文氏」経済財政担当大臣等の支援を受け衆院選に出る
「人の心はお金で買えるのです」「女の心はお金についてきます」
「人を動かすのはお金です」（拝金主義・利潤追求主義・弱肉強食の社会）
：ごころの話題とことば…敵対買収・粉飾決算・インサイダー取引 etc
：堀江氏の生活…高級マンション、自家用飛行機所持
- ・秋…青蓮寺書庫から200年ぶりに二孝女・白杵藩士・善正寺からの書簡発見される
- ・「豊後国二孝女研究会」（代表秋山高志元目白大学教授）史料集編さん事業に取り掛かる。翌18年三月『豊後国の二孝女』発刊（史料集）

3 『病父を尋ねて三百里』の出版された平成 22(2010)年

- ・夏…各地で親の「孤独（立）死」、「所在不明」が明るみとなり、社会問題となる。親の死を隠して子が年金受給、老親ぎゃく待問題…相次いで表面化する。
- ・秋…「病父を尋ねて三百里」出版、白杵市「きっちよむ史談会」を中心に、「二孝女物語」への関心、一層たかまる。

二 二孝女の悲願が叶った要因は？

江戸時代に病父を「常陸国から豊後国まで連れ帰る」…夢のような考え

一 夢のような考えを実現させたのは何か 一

1 人間、つゆととき

- ・父初衛門の治療にあたり『豊後国川登二孝女物語』の著者、猿田玄碩はその冒頭で「父母の恩徳海よりも深く、山よりも高し、誰か此恩を報せざる者ある…千辛万苦いとほす大孝心を発し…」と記す。親に敬意に満ちた愛情を強くもっていた
- ・姉妹の決断…村人の反対と批判をかわしての「死ぬる覚悟の旅」
 - *親への批判…二人の娘を捨てて「あまり慈悲なき心底そ…子のおもふほとはよもあらし」
 - *姉妹に「命ハ全くたもつまし」 役人は「狂気者よ馬鹿者よ」
- ・「夫にかくとしらせなはとめられんハ必なれと、…このまま過行ハ夫婦の義理も立ちかたし」「義父母への不孝」悩む
- ・「郡官より……金子賜りけれと…」堅く辞退、夫から申出も辞退…「金銭ののたすけはよからし…」 …自立、正直、清廉潔白
- ・「箱根の関にいたりぬ、……関守る人」つゆの「誠をつく」に感動…誠実、正直
- ・「(常陸の) おおかた様方よりおなさけ」「御殿様の御恩や御寺の御恩」にどう報いればよいかと悩む…ことのほか強かった「謝恩」の心
- ・その他…礼節と勤勉…到着直後の礼参り、婚家における勤勉な働き（つゆ）他

2 途中であった見知らぬ人々から受けた主な好意

- ・京都へ向かう…旅人「歩行には食物」大切と「柿をもとめて…二人に」与える
- ・本願寺にて…「御盃頂戴…いつくのひととはしらねとも…六百文をそへて」納付
- ・大井川越…矢沢村庄屋宅の宿と川番所役人の取計らい、人足の情け
- ・「情けある人」の教え…道の問い方、宿の求め方、かたき討ちと誤解される注意 笠に「巡拝者」あることをはっきりと…在所、同行四人（大神宮様・如来様）
 - *在所（国元）を明示したこと…幸運の出会いにつながる。
- ・箱根関守の取扱 ・「笠に国所をしるせし」により白杵藩士（稲葉重置）との思わぬ出会い…後に付き守られ藩邸へ[ここでの出会いが無かったら?]

3 白杵藩江戸留守居役「平生佐助」の慈悲深き配慮と菩提寺善正寺の報告と謝意

<貧農の領民を支援するための行為、御三家 35 万石水戸藩への要望>

- ・青蓮寺あての書簡と路銀を渡す、足軽付き添えの配慮
 - 「貴寺」厚き情けに感謝、父迎えが遅れた事情と謝罪、帰路「何卒以御慈悲、村送二被成義」は無理でしょうか、との願い。
- ・青蓮寺あて 11/17 初衛門の扱い「…寒風之節ハ惣身相痛…来春迄」のご厄介「御慈悲之程奉願上候」地車では病体に「響相痛可申」と心配し「駕籠様成ルもの」を希望。
- ・以下、水戸藩の心遣いに感謝、帰路の旅費の立替の願い、足軽・中間を迎えに派遣する約束、二月十三日江戸藩邸到着と三月五日江戸出立の報告など
- <親子三人のその後>帰郷後父子に代わって謝礼と現況を報告＝善正寺の親切
- ・文化 9(1812)5/21 「…父子三人之者共海陸無異儀先々月六日…帰着仕候、…貴寺

- 御心（親）切…筆紙ニハ難尽」 ・父子に代わって特に〔大里陣屋役人・丹羽五郎作
- ・猿田玄碩・磯辺村庄屋吉衛門・岩手村仁衛門・上東連寺源五郎と同御老母・下東連寺一郎衛門と同おきぬ・同宗悦老・御寺内了助・七之介等〕に対し「別而宜伝声仕由…分而猿田氏不淺御世話之由、小子よりも御礼…」
- ・ ?3/6 「…西教事腫物尔今治不申候得とも気分ハよ程快方ニ相成、兩人之妨共薄、歡合申候…小子共教西父子之者共へ之御心切爾今尔今難有奉存候…」
- ・文化 11、12 年?(1814)3/4 徳園寺あて
「…御当職様（証吟）事去正月八日御遷化之由…御愁傷奉遠察候。…教西事も行歩ハ以今不自由ニ御座候へ共、病苦ハ輕相成候様子…」 姉妹は「不相替厚介抱仕候…」

以後手紙の往復なくなったか？

4 青蓮寺の手厚い看護と村人たちの親切

- ・玄碩の観察「此寺（青蓮寺）室女婦徳ありて、慈愛の心深く…二便のけかれをも洗ひ、清らかにし…又此寺の僕心はへいとやさしく…室女について看病に心を用ひ…」
- ・玄碩の友人伊東隆安（監）の観察「猿田敬（玄碩）…心を尽して薬を施しつつそのいたはり大かたならず…」 *隆安は医者であり学者、石門心学を学んでいる。
- ・「近村兄弟の女子あわれみて称し恵むもの多かり…」 岩手村仁衛門、太田屋某 磯辺村庄屋金沢吉衛門、玄碩老母 etc
- ・父子三人の帰郷の際に贈った村人たちの詩歌と激励文（孝女子孫家に伝存）
庶民の教養の高さ、向学心…玄碩・隆安・枕石寺西天和尚、磯部神社田辺政有 原邦明・中村温を中心とする文芸愛好家、漢学・古文を学ぶ人々…女性も含む
- ・三人の旅の安全を祈願した寺社
「枕石寺ハ仏教三巻を誦し、又神主大内某（河合神社）ハ神前」に於て御祓をよみ 神樂を奏す」

5 水戸藩の温情ある取り計らい

- ・二孝女が感じた常陸国
：水戸御領小幡ていふ駅で受けた「泊屋勘兵衛夫妻」の親切「此の御国のおほんめくミ夜のあつきにかんしぬ…」「小幡妻女のしたしみおもへる」
- ・「御国様（水戸藩領）へ参りましたれハ、御慈愛深ひ事ておおかた様方よりおなさけ深き御言葉を…御恵もたんと下され…、地こくより極らくへ」生まれました <参考—吉田松陰「水府の風、他邦の人に款待甚だ渥く、歎然として欣び…」 >
- ・水戸藩主（治紀）、寺社奉行所、郡奉行所と関係藩吏の支援
「賞言」を初め称美金、燃料用まき、夜着、扶持米「東連寺村の内にて三人分」 帰郷に当たって郡奉行所は「かご」を用意…留守居役「平生佐助」の希望をいれて、帰郷に関わる諸手続きの配慮

三 二孝女物語が現代社会に問いかけたもの

1 先人が大切にしたい心と生活規範

- ・心…和・慈悲・清明心・正直・誠…の尊重、
わび・さび・すき・いき・幽玄・さやけさ…美意識
- ・生活規範…『徳』の実践を日常生活に生かそうと努めた先人
和・慈悲・礼節・孝心・勤勉・儉約・仁義・質実・誠・正直・謝恩…
- ・心に刻んでおきたい先人の残したことば
* 「袖すり合うも他生の縁」 * 「旅は道連れ、世は情け=旅は情け、人は心」
* 「身に奉ずること薄きを儉約とし、人に施すこと薄きを吝嗇（りんしょくーけち）とす」
(貝原益軒、江戸時代前期の儒学・本草学者)
* 「情けは人のためならず」 * 「和をもってと貴しなす」(聖徳太子・17条憲法)

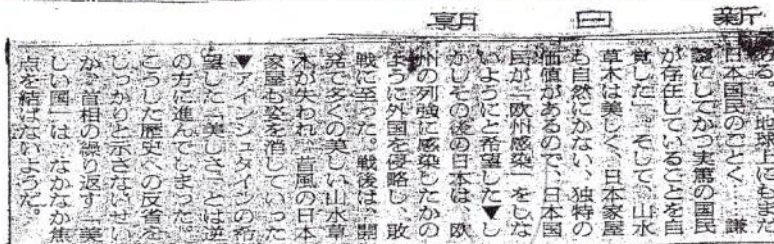
2 心豊かな江戸時代の社会 = 「お心肥やし」

- ・領民を大切にしたい武士・役人…人道主義を貫く姿勢、法規は柔軟に解釈
…臼杵藩江戸留守居の取計らい
- ・神仏・宗派をとわず宗教界こぞって「慈悲の徳」の実践に当たっていた。
- ・庶民の向学心…『徳』の実践につながっていた。

3 日本人の心情と行動様式（生活規範、風俗…）の西洋化を憂慮した外国人識者

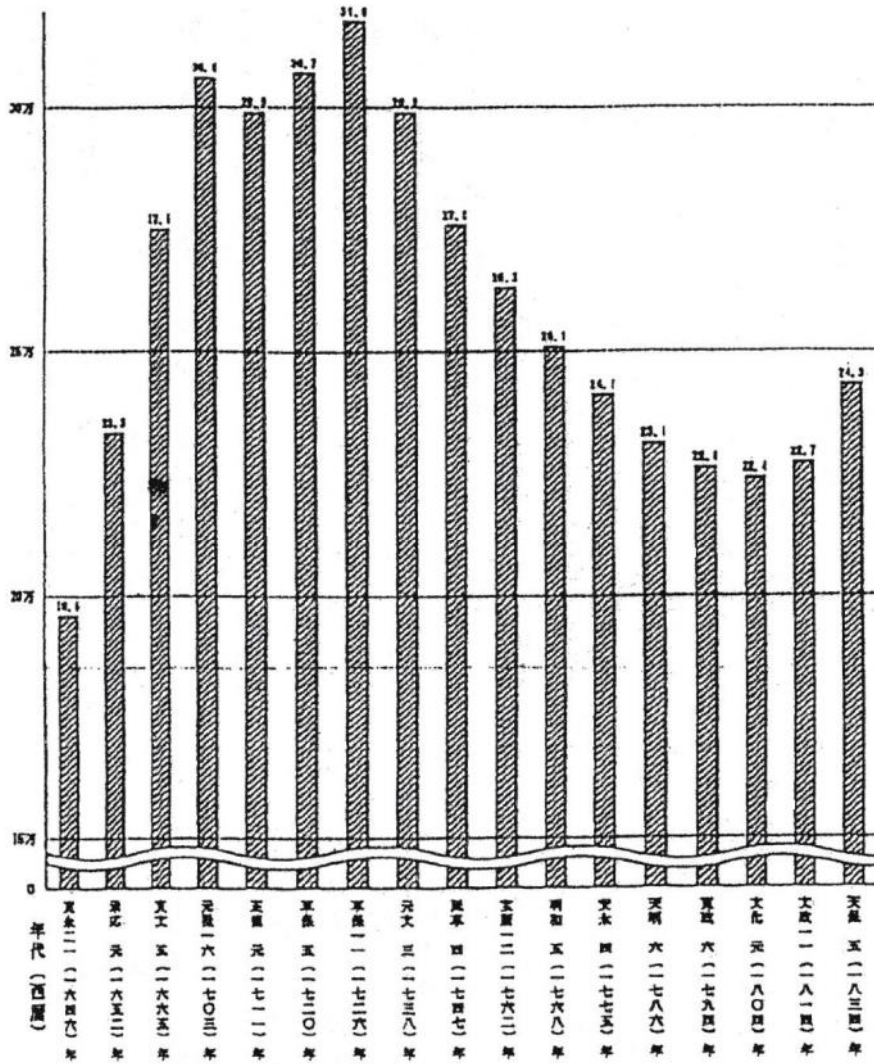
- ・「この国の人々の…習俗…賛美する……西洋の人々が彼等の重大な悪徳を持ち込もうとしているように思われてならない」(「ハリスの通訳」ヒュースケン/安政4)
- ・アインシュタイン（下記資料）、その他
- ・まとめ …「不易と流行」（芭蕉の俳諧理念）、「和魂洋才」（幕末一開国論）
二孝女物語を生かすみち

- 参考資料*
- 「断じて行えば鬼神もこれを避く」 (中国の古典『史記』)
 - * 「仁に当たりては、師にも譲らず」 (孔子『論語』) その他孟子
 - * 「孝子は父の美を揚げ、父の悪を揚げず」 (中国の古典、『雑書』)
 - * 「生きては即ち親之れに安んず」 (中国の古典『孝経』)
 - * 「民をたらしむべし」「民、信なくば立たず」 (孔子『論語』)
 - * 「義をみてせざるは勇なきなり」 (〃 〃)
 - * 「^{まつりごと}政は民を養うにあり」 (中国の古典『書経』)



資料

(1) 水戸藩農村人口の変遷

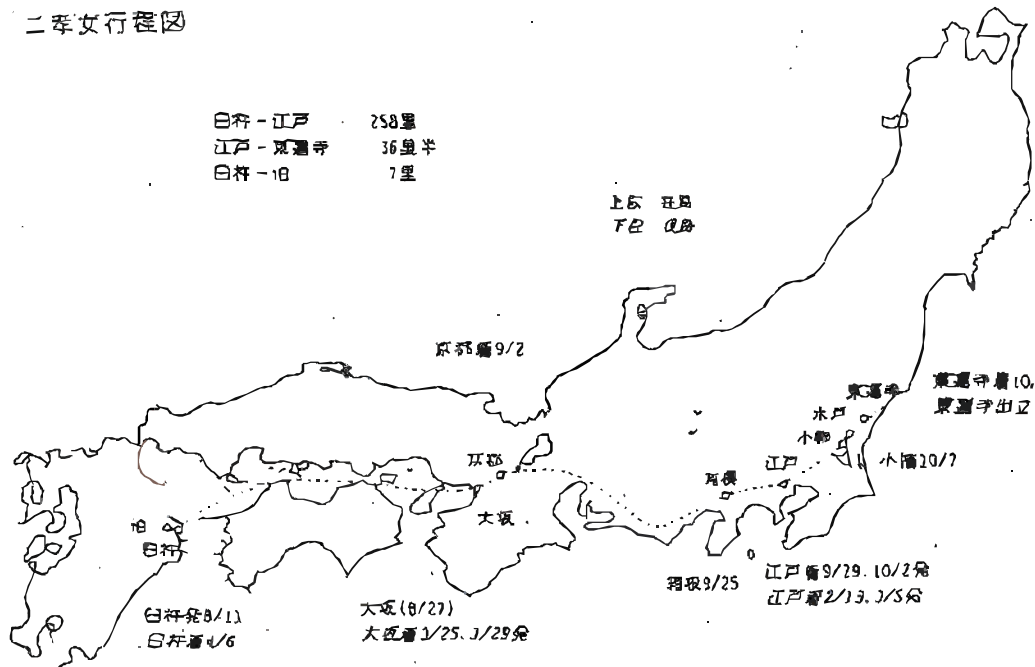


(2) 二孝女に贈った詩歌『地域別作者』

*その後の調査により若干名不明者の居住村判明

住所	短冊帖	卷子本	孝子伝詩	計
江戸	2	1		3
下総			1	1
越後			1	1
水戸	7	2	7	16
細谷	1	1		2
大洗			1	1
宍戸			1	1
鳥巢			1	1
石塚	1			1
太田	27	1	2	30
磯部	6	1	2	8
額田	3	1	1	5
嶋	6			6
河合	3	2	2	7
大平	1			1
東蓮寺	1		4	5
粟原	1			1
鴻巣			1	1
西宮			1	1
町屋			1	1
小鳥			1	1
下新地			1	1
西河内			1	1
赤土			1	1
岡田			1	1
横堀			1	2
不明	40	5	5	50
計	99	14	37	150

二孝女行徳図



(4) 此寺の室女婦徳ありて、慈愛の心ふかく、姑につかへて孝順なりし心はへより、(教西病にふして既にことしの秋まで四歳の月日をかさぬれとも、室女ふかくいたわりて、他人め手をもからず食物をはこひて、雨風のはげしきおもいとはす二便のけかれをも洗ひ、清らかにし、残るかたなき親切なりとそ、又此寺の僕心はへいとやさしくねんころにもてなしつ、室女について看病に心を用ひしハ賞すへきにとぞ。

附録

(5) ○姉露か曰、私ともハ全躰親に不幸なる事ハ申もさら也。故郷に病身の姑をのこし置、莫大の苦勞をかけましたつミかこさりますに、やれ孝行しやの、きとくものしやのとおつしやつて皆様よりの御恵ミものそのうへ此御国 御殿様の御慈愛として数々のいたゞきもの御ころのほとほともおそれいり、ほんに骨々かくつれますやうてつみかおそろしくそんします。御じたい申せハ恐れ入になるとの事しやそこにこさります。いたゞきましても御恩の報しやうかこさりませぬ。父子三人打よりましてどうして 御殿様へ御礼申上やうもそんなに、国に居りました時ハ親のもとへまいるたいはかり、うかうかいたいて乱しんものといわれました。其上にいちいちに呵られました。ほんに地こくてこさりました。 御国様へ参ましたれハ、御慈愛深ひ事てお、かた様よりおなさけ深き御言葉を下されたり、御恵もたと下されましてこさります。御国様へ参りましたれハ地こくより極らくへ生れまし たハ此やうなものでこさりませうに、

(白杵市立図書館蔵)

道中恙かなかれとて枕石寺ハ仏經三巻を誦し、又神主大内某ハ神前に於て御祓をよみ、神樂を奏す。かくて道中恙なく江戸に着し、稲葉家の御館に至りけれハ、孝心を感じ給ふて尊き御方の御目通りをゆるし給へり、且詩歌文章画賛衣類金銀など給ハれり。三月四日まで御館にとゞまり、同五日足輕老人、在小人兩人を添て送られ、御関所ハ、公儀御印鑑を下し給へり、同月廿日大坂に着しぬ。同廿五日大坂を出船し、海上穩に四月六日本国に着船す。

(茨城県立歴史館蔵)

(6) 里人の主な寄付者名

(1) つゆ・とき書簡 10

- ・ 3両…磯都村(金沢)吉右衛門様
- ・ 2分…馬場村 山横目様
- ・ 2〃…妙円様
- ・ 2〃…栗原村 清左衛門様
- ・ 2朱…三才村 彦作様
- ・ 2〃…太田村(伊東)隆安様
- ・ 2〃…松平村庄屋(石井) 甚五兵衛様
- ・ 2〃…額田村 儀兵衛様

(2) 伴資富著「孝行物語」(写本東大資料編纂所)

- ・ 木綿袷羽織…松平村庄屋(石井) 甚五兵衛息子甚三郎
- ・ 2朱…玄碩嫡子猿田幸治様
- ・ 2〃…東蓮寺村庄屋源五郎様
- ・ 金100疋…芦関村丹次衛門様

*その他白杵藩主、奥様・若殿・姫・女中・家老その他多くの家臣・水戸藩・郡奉行所手代など

(7) 孝女に贈った里人の主な漢詩作者 (俳句、和歌多数略)

<農民>

- ・ 下新地村…鈴木市兵衛(周蔵・子金)
- ・ 西河内〃…根本樸(子淳)
- ・ 赤土〃…関 顕(定孺)
- ・ 岡田〃…中村清四郎(温・子蛋)

<僧侶>

- ・ 摩訶衍庵…日貞
- ・ 青蓮寺主…証吟
- ・ 枕石寺主…西天

<郷医>

- ・ 東蓮寺村…猿田玄碩(子敬)
- ・ …猿田公弼(孝二)
- ・ 町屋〃…和田貞吉
- ・ 河合〃…浅野白

<神官>

- ・ 磯部村 …田辺政有(逸奇)